

## JA(農業協同組合)について

### JA(農業協同組合)とは

JAとは、生産者を中心とした「組合員」が、相互扶助の精神をもとに農家のためだけでなく、よりよい地域社会を築くことを目的に組織された協同組合です。

この目的のために、JAは農業生産技術に関する指導や農業経営支援をするほか、農畜産物の共同販売<sup>※1</sup>や生産資材・生活資材の共同購入<sup>※2</sup>、農業生産や生活に必要な共同利用施設の設置・運営、貯金の受け入れ・農業生産資金や生活資金の貸付、また、万一の場合に備える共済などの事業や活動を、総合的に行っています。

自然相手の産業である農業では、経営が不安定になることもあります。信用事業<sup>※3</sup>や共済事業<sup>※4</sup>があることで、経営を安定させ、さらなる経営発展の手助けをすることもできます。このような、資金面のサポートだけでなく、JAは生産技術や農業経営などに関するさまざまな支援も行っています。

このように組合員は、ひとりで何かを行うよりも、組合員同士で助け合い、JAを起点に同じ目的を持って、みんながまとまることで大きな力に変えています。その力は、地域社会を支えることにもつながっています。

※1 共同販売：販売事業参照

※2 共同購入：購買事業参照

※3 信用事業：信用事業参照

※4 共済事業：共済事業参照



### JAの総合事業

#### 販売事業

農畜産物の販売、  
選果場等の施設利用、  
農畜産物の加工、  
農畜産物の集出荷

#### 購買事業

生産資材、  
生活資材の供給

#### 指導事業

技術や経営の指導、  
サポート、  
くらしの活動など

#### 信用事業

将来に備えての貯蓄、  
融資

#### 共済事業

万一に備えての保障

#### 厚生事業

医療・福祉事業、  
健康増進活動

#### 新聞・出版・旅行事業

学習会の開催、広報紙の発行、  
新聞情報事業、出版・文化事業、  
旅行事業など